

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニコ		
○保護者評価実施期間	2025年12月15 日		～ 2026年 1月20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年12月15 日		～ 2026年1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出やクッキングなどの経験の機会が豊富。 「イベントや外出など、色んな経験ができる」「楽しませてくれる」と言う好意的なご意見が多数いただきました。 ニコは活動を固定するのではなく季節や新学期の流れにあわせて経験の幅が広がるようにしています。	年間行事や季節に応じた活動、外出やクッキング等を取り入れ子ども達の様子や集団の様子に応じて活動の内容を調整しながら無理なく経験の幅が広がるよう工夫している	「楽しさ」や「成長の意味」が保護者にも分かるようにする。 活動後の振り返るを職員間で共有して次年度の活動につながる仕組み作りを進めて行く
2	安心感 アンケートでは「子どもが安心して通えている」「楽しみにしている」「職員が話しやすく相談しやすい」と言う評価を多くいただきました。まず安心して過ごせる基盤を整える事を大切にしています。安心感があるからこそ子ども達は挑戦できると考えています。	子ども達が安心して通所できることを最優先に一人ひとりの特性を理解した関わりを行っている。情緒面への配慮を重視し職員が共感的に関わる事で子ども達が「安心できる」「通うのが楽しみ」の雰囲気作りを意識している。	安心して通える理由を分かりやすく保護者に伝えるため支援を意図を共有する。 気持ちの変化やサインを察知できるように面談や連絡帳などを活用して安心が続くように進めて行く
3	スポーツ部を作る ポッチャ部創設 体験で行ったポッチャが、子ども達にハマり現在は(土曜日利用の方)だが、入部希望であればどの曜日の方も参加できるようにして行きたい。	子ども達が楽しめるようまた安全面には十分に配慮して行くと共に、「やってみよう」気持ちや小さい成功体験を増やして自己肯定感を上げて行けるように配慮を行っている。	少しずつ部員を増やして行きたいが、 新学期や環境の変化もあるので個々に合わせながら部員を増やして行きたい。また、子ども達にも経験を積んでもらいながら集団への関わりを大切にしたり、楽しい事や達成感が1つでも増えてくれたらと考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会など保護者さまの交流の場ができていないところ。	父母の会と言うと、保護者や職員にも負担感ができてしまうのでは? と思ったり個人情報保護の兼ね合いもあり、会を設立することは積極的に動くことはできていなかった。	交流の場は、求めておられる方もいらっしゃる感じも受けます。そういった場の提供などはできるだけ検討したいと思います。
2	放課後児童クラブ・児童館との交流や、地域の子とも活動する機会ができなかったところ。	ニコの活動の流れの中で、放課後児童クラブや児童館などの交流をしようと先方の施設への働きかけを行う時間を取るようとする意識は低かった。	受け入れて下さる施設様とのプログラムの調整を進めていける相談を行いたい
3	ペアレントトレーニングについての企画を実施することができていなかったところ。	個人情報保護法の兼ね合いもありなかなか発信することをためらっていたこともある。	支援の場を見学できる事をお知らせしていきたい。 結果、多角的にみたペアレントトレーニングを提供できるように検討して行きたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニコ

公表日 2026年3月31日

利用児童数 14

回収数 11

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10			1		気になることがあればお気軽に相談や、お声かけ下さい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			2		気になることがあればお気軽に相談や、お声かけ下さい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1		気になることがあればお気軽に相談や、お声かけ下さい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11				子どもの特性を理解した上で丁寧に聞かって頂いております。	高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					季節感大切にイベントやクッキングなどを実施し様々な経験や体験が出来るよう支援を行って行きたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2		8		個人情報の兼ね合いや児童と障害特性の配慮の関係で難しいところがあります。児童の安心を優先して参加検討していきます
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					高い評価をいただきました。これからも分かりやすい説明ができるよう努めます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					電話や連絡帳等で方向性の確認なども行って行きたいと思っています。遠慮なく、ご相談に来てください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3		5		個人情報保護の兼ね合いや児童の特性発達の関係で開催は難しいと考えております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				家庭では、気が付きにくい面についても共有して頂けるためとても助かっています。	高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフと情報共有は行って行きたいです。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				送迎時や連絡ノート、メールなどでご相談にお答えするようにしています。不安な時は遠慮なくいつでもお声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	3	5		個人情報保護の兼ね合いや児童の障害特性の配慮の関係で父母の会の開催は難しい所があります。必要であれば今後開催の検討したいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			相談しやすい雰囲気があり、保護者への配慮も行き届いていると感じています。	高い評価をいただきました。これからも継続できるように子ども達やご家庭に寄り添って行きながらスタッフ達全員で支援して行きます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			3	個人情報保護の観点からSNSは控えておりましたがこれからは少しずつ行っていきたいのとHPの更新も行って行きたいと思っています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1	高い評価をいただきましたが、100%となるように改善し改めて行きたいです。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			3	避難訓練は法令で定められている年2回の訓練を中心に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			5	避難訓練は法令で定められている年2回の訓練を中心に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1	これからは分かりやすく個別支援計画の説明時に地震等の災害時における対応を説明させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				高い評価をいただきました。これからも継続できるようにスタッフ一同努力します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			通所を楽しみにしており前向きな気持ちで参加できています。	高い評価をいただきました。これからも楽しんで来所していただけるようにスタッフ一同努力します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11			安心して利用できており、事業所の支援に満足しています。	高い評価をいただきました。これからも子ども達が安心して過ごせるようにスタッフ一同努力します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ニコ		2026年 3 月 31 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		低学年と高学年のスペースに分けて活動をするように工夫している。	今後も継続して活動スペースを確保して間違えないように声掛けをする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別で関わられるように手厚く支援を行う。	職員の配置はもちろん、職員の専門性を高めて行けるように研修も行って行く。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	△		課題と運動や行事を行う部屋を分けている。	建物の入り口に段差が少しありバリアフリーではない。改築は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔な空間を保てるように、活動終了時には掃除を行う。	朝・夕の清掃で子ども達に気持ちよく過ごせてもらうようにしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学年を分けて支援を行ったり、パーテーションを利用するなどして個別の空間を作るようにしている	机や椅子の適切な高さや、子ども達に合った道具の購入を検討している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		目標が実現できる立て方を行う。	目標が達成しやすい目標をたてて達成感があるようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートから上がった課題を元に会議を開き早急に対応していくように努力している。	定期的な業務の見直しと改善を行って行く。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートから上がった課題を元に会議を開き早急に対応していくように努力している。	定期的な業務の見直しと改善を行って行く。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		他事業所の助言や書類の確認等、関係機関による部外評価を元に業務の改善を行っている	今後も、自己判断だけで運営を行わず他機関の協力を得ながら評価の見直しを継続しておこなっていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修などで、専門性を高める機会を多く作って行きたい。外部研修の参加もおこない職員の資質向上に努めている。	研修の振り返りをおこなう。お互いが参加した研修の報告をして共有をはかる。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月保育計画を作成して、低学年と高学年に分けてのプログラムを配布している。	今後の支援も考慮した上で、公表の方法を考慮して行きたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に懇談会などで得たアセスメントをもとに計画の作成を行うようにしている。	計画の更新において、未達成のものがある際は次回の計画で達成するための振り返りをおこない達成に導けるように取り組む。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者懇談のアセスメントをもとに会議にて計画の内容を確認し情報を共有できるようにしている。	現状に満足せずに子ども達の将来や課題に向けて取り組めるように支援の方向性を考えていけるように努めたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画をもとに支援を行って行けるように職員の周知を行う。また情報の共有をおこなうように心がけている。	支援の方向性が日々の関わりの中で離れてしまう時は修正がせきするように現状を把握した会議を行い情報共有を行う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		観察記録を取り児童の状況把握を行えるように取り組んでいる。	現状に満足せず努めたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人や保護者の意見を考慮しながら方向性を考えるように努めている。	本人、家族、以降する地域が望んでいるものか検討をおこない支援にいかしていけるように会議などで再確認していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		色々な行事や運営を行えるように努めています。	見直しをおこない、年々バージョンアップしていけるように取り組む。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		行事運営や外出等、固定化しないよう活動を行い職員間で共有できるようにしている。	運営や外出が同じにならないように、今後の取り組みも固定化しないように続けていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要な児童は個別の対応ができるように取り組み課題として取り組んでいく。	成長や課題に応じて小集団に移行したり調子によっては個別に居るように職員間で考えていくようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日の動向確認を職員全員で情報共有できるように取り組んでいく。	情報共有は今後とも抜けが無いように取り組んでいきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動の振り返りや、状況の確認を行う。次回の支援に繋げられるようにする。	見落としが無いように確認をして休みの職員にも共有をしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	△			検証・改善に置いて会議で検証して取り組んだ支援を再検証する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	△		懇談以外でも、保護者の聞き取りを行うようにして支援計画の進捗具合や達成度合いを見ながら計画の練直しを行う。	計画の見通しが遅れて、支援が停滞しないように聞き取りを送迎の際に密に行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			児童に合わせて支援の方向を柔軟に考えて行けるようにしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		行事や余暇活動と児童の気持ちを考えながら自己決定する力を育てていけるように取り組んでいく。	児童の考えや選択、自己決定が現状できているか考えながらその人にあった選択肢があるかを考えて関わって行くように努めて行く
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく二つの職員も参加することで情報の共有や細かな伝達ができるようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援と密に連携を取りながら必要であれば各関係機関との連携が取れるように努めている	家族の状況や各サービスとの関係上他のサービスとの連携が難しい場合があるため現状ならできるサービスの連携を模索して行く。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の送迎や保護者を通して行事の共有や学校の情報を確認できるように日々取り組んでいる	学校によって支援の方法が違ってくるので積極的に連絡を取る。また保護者を通して連絡をはかるなど関係作りに努めて行きたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	△		一定した支援が行えるように、おこなうように努めている	積極的に情報共有を行い児童に戸惑いのない支援に努めたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△		障害福祉サービスへの移行する児童はまだいないが、相談支援事業所を軸とし支援会議を行い情報の共有や引継ぎをおこないたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	△			現状の機会に満足することなく他事業所等との連携をはかって向上をめざしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	△		外出や行事に地域の児童達が参加できる機会を設けて行きたい。	現状の機会に満足せず他の事業所等との連携をはかって向上をめざしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	△			情報の共有が密にできるように会議の場を設けて行きたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの成長や取りくみないようについて、職員間で話し合うようにしている。また、対応が統一できるようにしている。	子どもの発達状況や課題について職員間で共有していきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△		ご家族の事情や児童の発達、特性に合わせてご家庭で出来る取り組みを提案したり一緒に考えたりするようにしています。	児童ひとりひとりの発達が異なるために、ペアレント・トレーニングや研修等が難しい現状です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に運営規程や支援方法、利用者負担額等についてご説明をしています。同意を得てから利用をはじめられるようにしています。	支援内容や運営規程については十分に理解していると思うのですが更に理解を深めて行けるように努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者からの様子の聞き取りや支援計画の達成度合いの確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後等デイサービス計画について、職員間で回覧して意見交換をしています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時での会話や連絡ノートで相談にお答えできるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	△			個人情報保護の兼ね合いや児童の障害特性の配慮の関係で父母の会の開催は難しい現状があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		送迎時の会話や連絡帳で相談にお答えできるようにしています。	保護者からの相談内容をすぐに職員間で共有し相談の回答を職員で考えて行きます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやSNSの更新をおこなっている。	これからは、頻度を上げてアップするようになっています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		連絡帳でのやり取りや送迎時に保護者へ二コでの出来事などを説明しています。	保護者との回答結果とほぼ同じになりました。これからも、努力します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳でのやり取りや送迎時に保護者へ二コでの出来事などを説明しています。	SNSやホームページの更新をすれば送迎時など、お知らせをして行きたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	△		地域の方との交流の機会は設けていけるように意識して行きたいです。	個人情報保護の兼ね合いや児童の障害特性の配慮の関係で地域住民の招待は難しいところがあります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは作成し事務所に保管しています。	定期的にマニュアルの場所について職員間で共有します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回、非常災害を想定した避難訓練を実施しています。実施後は改善点などはすぐに改善するように努めるようにしています。	なるべく全員の職員が参加できるようにしていきたいです。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかん発作の有無や病歴・手術歴、必要な配慮を契約際に聞き取りをしています。	てんかん発作があった際の対応方法を職員間で共有します。緊急連絡先や対応マニュアルの所在を共有します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		子どもの1人ひとりのアレルギーの有無や食事法偏食の有無などを聞き取り記録をしています。	ため医師の指示書はいただいていません。保護者の要望があった時はお預かりし保管するように致します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を元に訓練実施を積極的に行って行きたい	安全計画を元に訓練実施を積極的に行って行きたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		子どもの体調不良や災害時における対応を説明する	感染症の流行時期など、職員への発信していき対応を統一するようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハットがあった場合はすぐに共有できるようにしています。またヒヤリハット報告書で再発防止策を検討しています。	現状の形式を継続しながら再発防止に向けて職員間で意見交換する機会を今後も設けます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上虐待防止研修を行っています。施設外での虐待防止研修についても参加を心がけています。虐待が発生しないように職員間でのコミュニケーションや支援の相談を行っています。	今後も虐待防止に努めます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		職員間の共有。災害時緊急時における身体拘束について説明するようにしています。	現状に満足することなく継続して行きたいです。また保護者の方には誰でも分かりやすく説明できるようにして行きたい。	